

課題文C:「感動した話」

【A】最近、ある話にとっても感動したのよ。

【B】どれくらい感動したの？

【A】もう涙が出るくらい。

【B】それはすごいね。どんな話？

【A】桃太郎って知ってる？

【B】桃太郎で涙出ないよ。っていうか、今ごろ桃太郎を知ったのか？

【A】というわけで、私が感動した桃太郎をお話したいと思います。

【B】感動するって子供か！

【A】むかしむかし、あるところに、おじいさんとおばあさんが住んでいました。

【B】うんうん。

【A】おじいさんは山へ洗濯に、おばあさんは川へ芝刈りに行きました。

【B】洗濯と芝刈りが逆！山へ洗濯は面倒だよ！

【A】おばあさんが川で洗濯をしていると、ドンブラコ、ドンブラコと、大きな太ももが流れてきました。

【B】そこは桃だろうが！太ももが川で流れるか！

【A】太もものタイプは、毛がポーポータイプね。

【B】それって、ただのおじいさんが川に溺れているだけじゃん！

【A】おばあさんは大きなスモモをひろいあげて、家に持ち帰りました。

【B】はいはい……

【A】そして、おじいさんとおばあさんが桃を食べようと桃を切ってみると、なんと、中から元気の良い種が飛び出してきました。

【B】それって普通の桃じゃん。そこは赤ちゃんだろ。

【A】桃から生まれた男の子を、おじいさんとおばあさんは桃・太郎と名付けました

【B】桃が名字で太郎が名前じゃないからね。桃太郎って名前だからね。

【A】桃太郎はスクスク育って、やがて強い男の子になりました。そしてある日、桃太郎が言いました。

【B】あの有名なセリフを言うんだよね。

【A】「ぼく、鬼ヶ島(おにがしま)へ行って、頭が悪い鬼を退治します」

【B】頭じゃなくて心が悪い鬼ね。

【A】そして、おばあさんに、きびきびと団子を作ってもらうと、鬼ヶ島へ出かけました。

【B】そこは、きび団子ね。きびきびと団子作っているかもしれんけど。

【A】旅の途中で、きび団子をあげて、イヌ・サル・おじさんを仲間にしました。

【B】最後のおじさんって、ただの人間じゃん！

【A】しかも太ももの毛がポーポーなんだよ。

【B】えっ！？仲間になったのって最初に川で溺れていたおじさん！？

【A】そして、4人は、船に乗って、ついに「鬼は～外」へやってきました。

【B】「鬼は～外」は節分だろ！

【A】鬼ヶ島では、鬼たちが近くの村から盗んだ宝をずっとニヤニヤ見つめていました。

【B】本当、気持ち悪い鬼だね。

【A】4人は、そんな鬼たちを成敗しました。

【B】皆で退治したんだよね。

【B】桃太郎とイヌとサルとキジは、鬼から取り上げた宝を船につんで、元気よく家に帰りました。

【A】次でラストだよね。

【B】桃太郎たちは、村人に鬼に盗まれた宝くじを返しました。

【A】宝くじじゃないでしょ！宝！

【B】村人は、盗まれた宝くじを見ました。しかし、当選していた3億円のクジだけなくなっていました。

【A】何でだよ！

【B】実は鬼は1枚だけ当選したのが分かったので、それ以外はすべて負けたふりをして返したのです。
めでたし、めでたし。

【A】鬼が幸せになってどうすんのよ！全然感動できないわ！